

辰野町議会・若者タウンミーティング ワークショップで出された意見の概要

2024 年6月 辰野町議会若者 TM プロジェクト

4月20日に行われた「議会・若者タウンミーティング」は、参加者と議員が6グループに分かれ、

○ワーク1「住みたい町ってどんな町」「辰野町について感じている事」「町への思いや願い」

○ワーク2「町に期待する事・あったらいいな」「私にできること」
をテーマに話し合いました。

出された意見は多岐に渡り、一つ一つが貴重でしたが、以下に「町について感じている事」と「町に期待すること・あったらいいな」に区分し、意見の概要をご報告します。

I 町について感じている事

1. 町の良い所

(1) 自然・社会

- ・自然が豊か ・水や空気がおいしい
- ・散歩したくなる街 ・温泉が日常的
- ・伊那、諏訪、松本に行きやすい
- ・都内からのアクセスが良い
- ・家、土地が安い

(2) 人

- ・人が優しい、面白い
- ・気の合う仲間が多い ・ママ友がどんどん出来る
- ・元気なジイジ、バーバがすごく居る ・辰野ファンが多い
- ・丁度良い距離感 ・みんなが知り合い ・色んな人の居場所がある所

(3) 自治体としての評価

- ・田舎だけど不便過ぎない ・多すぎない人口がいい
- ・役場職員や町会議員との距離感が近い ・町の政治が生活の中にあって身近に感じる
- ・子育てしやすい ・子供向けの楽しみやイベントが沢山ある
- ・トビチがすごく良い ・子どもカフェが楽しい ・ほたる祭りが楽しみ



- ・給食が子どもにやさしい
- ・食料品が買える店がそろっている
- ・町民会館のお手洗いに生理用品が置いてあり、勇気をもらえた

2. 町の足りない所

(1) 自然・社会

- ・フラーと寄れる店がもう一寸あって
もいいかな
- ・空地が増えている

(2) 自治体としての評価

- ・学生や若い人の居場所がない
- ・利便性が悪い
- ・買い物の場所が限定的
- ・区などの役員負担が大きい
- ・地元の人と移住者の交流の場、居場所がない
- ・高齢者にやさしく寄り添う福祉関係が弱い
- ・公民館が多すぎ、活用されていない
- ・まだまだ外国籍の人への対応できていない
- ・町に特色がない。町が何に力を入れたいのか解らない



Ⅱ 町に期待すること・あったらいいな

1. 子育て

- ・子育てにやさしい町
- ・「町全体で子育てをする」町
- ・子どもが多い町に
- ・子育て情報が欲しい
(まとめサイト、グループ LINE など)
- ・子どもの検診時間を午前に
(お昼寝時間と重なる)
- ・子どもの居場所をもっと
- ・産婦人科が欲しい
- ・子育て支援センターがもっと開いていたらステキ
- ・子育て支援センターに、放課後の小学生も遊びに行けるように
- ・子どもスポーツ団体支援のために補助金を
- ・(子どものイベントの為に) 公民館での飲食をOKに
- ・子どもカフェへの送迎サービスが欲しい
- ・子どもの個性や速度に合わせた学びができる環境があるといい



2. 若者

- ・若者が集え、遊べ、コミュニケーションが取れる町
- ・若者と高齢者の共存
- ・多様な世代・人に優しい町に
- ・学生が集まる場所、遊べる場所を
- ・若者向けイベントを大切に

3. 交通・移動手段

- ・親の車に頼らず、免許のない子どもが自由に動ける町
- ・移動手段の確保
- ・バスの充実
- ・豊南大のバスが満杯、ルートなど柔軟な取組みを
- ・朝晩の渋滞緩和



4. 住みよい町づくり

- ・人口を増やすことが必要
- ・全員「ヨッ友」の町
- ・人の出入りが多い町
- ・自然と共存する町であり続けて欲しい
- ・歩きやすい町に
- ・公務員以外に良い仕事がある町
- ・お洒落して出かける場や機会が欲しい
- ・雨の日に居場所がある町
- ・劇場が欲しい
- ・官民連携して町づくりを
- ・商店街に駐車場が欲しい
- ・荒神山公園にバーベキューできる場所を
- ・バスケットボールのゴール
- ・大型アスレチック
- ・街中 free Wi-Fi
- ・災害に強い町づくりを
- ・同姓パートナーシップ条例の整備
- ・薪ストーブ購入補助を
- ・ゴミ捨て場を歩いて行ける近くに
- ・町内温泉の町民割引実施を
- ・町のホームページを見やすく
- ・くつろげる場所を紹介する地図の作成
- ・オモシロ人材バンクを作っては
- ・里山で暮らす智慧、技術の継承を
- ・辰野を世界発信して、インバウンドを
- ・議員ともっと気軽に話が出来るといい
- ・今日のような若者が交流する取組みを続けて

